

常任委員会からの活動報告

狭山市には3つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属します。各委員会では、それぞれが担当する事項の議案などを審査します。

- ◆閉会中の特定事件審査
空き家対策について
- ◆平成25年度一般会計補正予算
国の緊急経済対策である、地域の元氣臨時交付金の交付額は、今回の補正で5298万円を計上した。25年度に充当できるものも含め、総額1億1543万円の交付が見込まれる。
- ◆平成25年度一般会計予算
総合窓口対応システムでは、どのような業務を一本化するのか。
業務は証明書の発行と手続きに分けられる。証明書の発行は一つの窓口で対応が可能となり、手続きは、福祉関係は統合できないが、総合窓口対応システムと連携を図り運用していく。
- ◆市内循環バスの運行事業費で、補償料が前年と比較し減額となっている理由は、利用者の増加に伴い、運賃収入が上昇傾向のため、バス会社への補償料を減額した。
- ◆店舗・住宅リフォーム補助金が50万円増額し、500万円になったが、予算の配分は、
◆一般住宅分が300万円、店舗分が200万円である。



店舗・住宅リフォーム補助金が増額

総務経済委員会



- ◆介護保険特別会計
《総員賛成で原案可決》
25年度の事業展開は、24時間対応の定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所を1カ所整備。

委員会提出議案

- ◆市議会会議規則の一部改正(第1号)
提出委員会運営委員会
本会議に、利害関係者や学識経験者などの意見を聴く公聴会と参考人制度を導入

《総員賛成で原案可決》

- ◆市議会委員会条例の一部改正(第2号)
提出委員会運営委員会
自治法で定めていた事項を条例に委任。また、消防の広域化に伴い、常任委員会の所管に関する規定の改正

《総員賛成で原案可決》

- ◆市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正(第3号)
提出委員会運営委員会
政務調査費の名称を政務活動費に改め、経費の範囲を条例で定める

《総員賛成で原案可決》

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正等を求める意見書(要旨)

県においては、下記の事項について、「動物の愛護及び管理に関する法律」の一部改正に基づき、「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例」の一部を改正するなど、適切な対応をされるよう強く要望する。

- 1 多数の動物の飼養及び保管に係る届出を義務付けること。
- 2 多頭飼育者の情報について、関係市に情報を提供すること。
- 3 多頭飼育等に起因する日常生活に影響を及ぼす問題が発生した場合は、今まで以上に関係市と連携を図り対応すること。
- 4 関係する地域住民に対しては、対応状況等の報告を行うこと。

- ◆埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正等を求める意見書(第4号)
提出委員会建設環境委員会
※左上の囲み記事参照
《総員賛成で原案可決》

請願

- ◆市立祇園保育所の公設民営化は、保護者との合意に基づきすすめること
請願者数 3人
《不採択に賛成多数(17人)で不採択》

その他の議案
《いずれも原案同意可決》

- ◆人事/教育委員会委員(宮崎英子氏) ◆固定資産評価審査委員会委員(田嶋茂氏) ◆人権擁護委員候補者(磯部静夫氏) ◆条例/ ◆ペット霊園の設置の許可等 ◆市職員の勤務時間、休日及び休暇 ◆市職員の特殊勤務手当 ◆学童保育室 ◆墓地等の経営の許可等 ◆予算/ ◆24年度補正予算(一般会計1議案・特別会計2議案・企業会計1議案) ◆25年度当初予算(特別会計2議案・企業会計2議案) ◆ほかに祇園保育所建替工事請負契約など4議案

災害時に保護者へ連絡緊急メール配信事業を導入

文教厚生委員会



- ◆狭山市立保育所条例の一部を改正する条例
祇園保育所に指定管理者を導入するにあたり、保護者などへの説明は、方針決定後、懇談会を20回以上実施し、入所受付時や入園準備会などでも説明した。
- ◆合同保育期間が3カ月の理由は、現在ののならば保育や保育者の混在による子どもへの混乱を考慮し、3カ月が最適と判断した。
- ◆平成25年度一般会計予算
こども医療費の増額理由は、医療機関への利用見込みの多い、24年度を踏まえ算出した。
- ◆学校の緊急メール配信の内容は、導入段階であるため、緊急を要するものを中心に考える。
- ◆請願審査 市立祇園保育所の公設民営化は、保護者との合意に基づきすすめること
【意見】
保護者の意見を取り入れてほしい。
努力目標なら理解できるが、受入れ条件では厳しい。
一部は保護者と行政で進める内容で、受け入れの条件としては性急である。などの意見があり、不採択となった。

討論 議案に賛成・反対します ◆平成25年度一般会計予算



賛成討論(要旨)

歳出の見直しによるコスト削減や経常経費の削減に努め、財源の効果的かつ効率的な活用が図られている。

▶狭山元氣大学事業費をはじめ、民間保育所整備への支援事業費、防災・減災対策としての太陽光発電システムの設置事業費など、選択と集中の予算計上である。▶小・中学校の耐震補強工事および冷暖房工事は、着実に実行されている点を評価する。▶「埼玉西部消防組合」が設立され、消防体制のさらなる強化が図られ、私たちの「安全・安心」が高められるものと期待している。▶今後の狭山のまちづくりを進める上で、次期総合振興計画の策定の着手にあたり、入念な準備をお願いする。

反対討論(要旨)

国の予算案は、社会保障を切り捨てるものになっている。国の政治から市民の命と暮らしを守るための予算編成に向け、指摘する。

▶基地交付金は、関係機関と連携して要望の抜本的強化を。▶保育所などで常勤対応の臨時職員が常態化している。専門職として正規雇用を。▶生活一時金制度の廃止は納得できない。実態を踏まえ市で責任ある対応を。▶高齢者のための「施設借り上げ料」が廃止になったが、年間60万円弱の予算を削る必要はない。▶中央公民館などの利用者の要望に応え、無料の駐車場を。▶保育所の民間委託ではなく、公立と民間の双方で待機児童の解消を。▶就学援助はクラブ活動費、PTA会費も対象に。

不法投棄物処分量

年間57.3トン 建設環境委員会

- ◆平成25年度一般会計予算
不法投棄物の処分量は、23年度の収集量が57.3ト、うち可燃物が24.2ト、不燃物が13.6ト、粗大ごみが6.9ト、処理困難物が12.6ト。
- ◆道路が凍結した時の対応は、市と狭山市建設業協同組合で契約を結び、凍結防止剤をまくなどの対応をとっている。また、市職員が歩道部分の除雪や凍結防止作業を行うなどの体制もとっている。
- ◆狭山市駅上諏訪線整備事業の予定は、25年度に約1490㎡を取得することで、事業全体の用地取得予定面積約5500㎡の取得率は36%に、また、11棟の建物が移転すると、全体の建物移転予定数30棟の移転率は50%となる予定。
- ◆水道事業会計予算
近隣市との連携強化事業内容は、近隣市と配水管を連結させ、震災などが発生した場合、被害を受けなかった市から水を供給する体制を強化していくもの。現在、飯能市との間に連結装置が1カ所ある。
- ◆閉会中の特定事件審査・所管事務調査
環境対策について(動物飼育施設)